

# 聞いてみよう! 青森で「働く&暮らす」

専門家に聞く!

「仕事」「家庭」「地域」3つの軸足が持てる地元暮らしのメリット



【インタビュー】  
青森中央学院大学教授  
しおやみ  
**塩谷 未知**さん

「一流の田舎」をもっと自慢しよう!

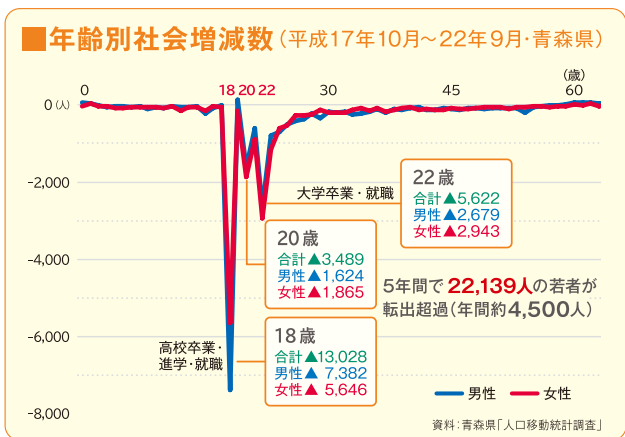
以前、ある人から、「青森は一流の田舎である」という言葉を聞きました。が、全国各地を訪れてきた私から見ても、青森は本当に豊かで魅力的なところですよ。

自然の美しさ、伝統的な祭りはもちろんですが、小規模ながらひたむきなおいしいお酒を造っている酒蔵など、真正直なものづくりの姿勢においても全国に誇るべきものがあります。

もっと増やしたい! 若者と企業の交流の場

自分が生まれ育った場所、働き、暮らすメリットは、「仕事」、「家庭」、「地域」という3つの軸足が

持てることです。県内の企業のなかには、自社の技術にプライドを持ち、地域コミュニティのなかで重要な役割を果たしている会社も少なくありません。若者がそうした優れた企業で働くことで、地域とともに自身も成長できれば素晴らしいことです。新しいアイデアでこれまでないサービスを始めたり、地域の問題解決にあたるなど、地方の小さな会社だからこそできるイノベーションのチャンスもたくさんあると思います。



よく、「人生は何人かの良い大人に出会えると充実する」と言われます。それは、親や先生、そして「〇〇さんのようにになりたい」という人生のロールモデル(規範)となる人だと思えます。ですから、進路を決めるまでにたくさんの方の話を聞き視野を広げることが大切です。若者がもつと県内の企業と接点を持つ機会を設ける必要もあるのではないのでしょうか。互いの交流の場を増やし、理解を深めることが大切だと感じています。

より多くの情報を生徒に提供するために



【インタビュー】  
県立青森商業高等学校  
教諭 進路指導部主任  
きだ たかみ  
**木田 孝夫**さん

本校は、県内就職希望者の割合が県内の高校でも高い方で、県内が7割、県外が3割となっています。県外就職を希望する主な理由としては、「県外に出てみたい」、「県内には自分がやりたい職種がない」

しかし、「希望する職種さえあれば、本当は県内で暮らしたい」という生徒もいますので、学校側も積極的に県内企業の情報収集に努め、企業の方にもこれまで以上にPRしていただくなど、両者が情報

学校と企業が情報共有できる仕組みを

先生に聞く!

共有できる仕組みが必要であり、同時に起業教育も重要だと思います。「暮らしやすさ」にも着目してアプローチ

県内企業の業務紹介にとどまらず、社独自のユニークな活動などにもスポットをあてた情報があれば、生徒たちも県内で働きながら暮らす自分の姿がイメージしやすいと思います。同時に私たち教師も、青森県の暮らしやすさや魅力についてもっと伝えていく必要性を感じています。

県内の企業にも目を向けて!

子どもが県内・県外就職で迷っている時は、先入観やイメージだけではなく、親自身もアンテナを張って企業をよく知り、親子で一緒に青森の良いところや課題を話し合うことが大切だと思います。

親もアンテナを張り企業を知る大切さ

親世代に聞く!

多角的な視点でアドバイスしたいものです。

「帰りたいくなる青森」を地域のみんで創る

これまで、子育て支援、PTA、環境、防災、交通安全などさまざまな活動を通じて地域の子どもたちと関わってきました。

進学・就職などで県外に出た若者も地域との関わり合いで、記憶のなかに「青森」が刻まれ、ふるさとに誇りが持てれば、自然と帰ってきたくなると思います。「青森」がしっかりと子どもたちの記憶に残るよう、地域活動を続けていきます。



【インタビュー】  
元青森市PTA連合会会長  
元青森県総合計画審議会委員  
おおさか みほ  
**大坂 美保**さん

企画調整課 ☎017-734-9131

12月 あおもりで暮らそう! あおもりに帰ろう 関連番組 放送予定

放送局	番組名	放送日時
青森放送	大好き、青森県。	12月18日(日) 17:00~17:15
青森テレビ	みんなの県庁!	12月17日(土) 16:55~17:00
青森朝日放送	メッセージ(3回シリーズ)	12月 3日(土) 9:30~9:35
		12月10日(土) 9:30~9:35
		12月17日(土) 9:30~9:35